

下関市立豊田下小学校の児童がシイタケの駒打ち等を体験

令和5年2月17日（金曜日）、豊田町育林研究会（会長：林政幸）は、下関市立豊田下小学校の3・4年生14名を対象に、シイタケの駒打ちと竹ぼっくりづくりを内容とした森林体験学習を実施しました。

これは、次代を担う子どもたちに、森林の大切さやそれを支える林業の重要性を体感し、理解を深めてもらうために実施したものです。

当日は、会長のあいさつや県事務所職員からシイタケの話聞いた後、林研会員のサポートを受けながらシイタケ原木に電気ドリルで穴をあけ、種駒を打ち込むまでの作業を体験しました。

続いて、竹ぼっくりづくりに挑戦し、ノコギリを使った竹切りなど、とても熱心に取り組んでいました。

豊田町育林研究会では、今後とも森林体験学習を継続し、子供たちの森林・林業に対する理解を深めていくことにしています。



駒打ち体験



竹切り挑戦中！